

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信

No. 223
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL 090-3710-4815
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう。卒業式には「仰げば尊し」を!

『公のための私』『私のための公』 忍耐を涵養する教育を

国会両院記者会所属 やまと
新聞社より

【マリの喫茶室 44】
① コロナ感染対策には強
制力が必要 R2-3-28

連日、コロナ感染拡大の報道

が続く。今日は何人が感染した、そんなニュースばかりで暗くなる。しかも、対策は「自粛」「要請」で全然強制力を伴わない。だから水際対策も不十分、諸外国が次々と入国禁止にしているのに、日本は「要請」とまり。このため、相変わらず、この時期にスペインやフランスに海外旅行するのか??? という非常識な人々が感染をまき散らす。それでも、入国制限をしない。検査結果が出るまでの滞在要請を②振り切って自宅に帰った人に対する罰則もない。

これで国に、国民を守る意思があるのだろうか?

---略---

日常生活を守るために、イベントや遊興施設、海外旅行など、
③不要不急な外出規制は必要である。今は我慢の時である。
④経済対策は別途講じればよい。今は、感染拡大対策が最優先のはずである。それは自粛や要請ではなく、⑤国や自治体が強制力をもって進めてほしい。

い。
~~~~~

【マリの喫茶室 44】、全く同感だ。コロナは厚生医療問題であり、教育とは縁遠い。しかし、ここに至っては教育問題そのものになってきた。今こそ、我々は教育とは何かを考えよう

まず①、強制力。今は国家総動員法が必要ではないか。医者が言うならまだいいが、評論家や芸能人が、好き勝手言う。日本のあらゆる情報はすべて官邸に集まる。だから官邸(首相や担当大臣)が一番コロナ事情に詳しい。もちろん、神でない限りベストの対応などできない。ベターだと思っ。しかし皆が勝手な言動を取ると「ベター」より悪い。日本丸乗組員は一蓮托生、一丸となってコロナと戦う。そのためには、強制力、戦時法が必要。「人権」派の口にテープを張ることだ。公のため、一時私を封印しなければならぬ時もあると思う。「公のため」とは「友達、親兄弟のため」だ。

②人権と身勝手との混同。そこがわからない人には、罰則もやむを得ないと思う。「自粛」とは禁止ではない。あくまで自由だ。バカか。「自粛」とは禁止を柔らかく言っているだけで、「止めとけ!」と理解できないのか。さすがは小池知事、「stay at home」と暗に命令形!

③今の子供たちの最弱点。日教組教育の最大の失敗。それは「我慢」ができないこと。我慢しなければならぬ時もある。私は受験地獄と真面目から対峙した。鬼のような体育会系クラブ(山岳部)もやった。少々のことでは音を上げない。大東亜戦争は4年続いた。灯火管制。コロナ

ナ戦はまだNのNか月。毎夜消灯。というわけでもない。④「自粛」と「保障」はペアである。という。世帯当たり30万円給付するというが、目的は福祉? 経済? 選挙? (これは冗談)。もちろん経済が落ち込み過ぎると、大型トラックが減速した時のように加速が大変だ。それはわかる。しかし、先ず生活レベルを下げるのだらう。商店等は資金が回らないから何とかしてくれ。とすぐに政府に泣きつく。儲かった時もあるはずだ。その時はお金を政府に差し出したのか。実際に自分勝手だ。また、現金給付は貯金に廻るのでは。それでは景気回復に寄与しない。という意見もある。ちよっと待て、預金に廻るといことは、当面現金は必要ない。と云うこと。それならそもそも配る必要がない。⑤「自粛」などというあいまいな言葉ではなく、「禁止」にしたらい。法律がないなら作つたらいい。自由は、「公の福祉に反しない限り」なのだ、今回の感染拡大は戦後の誤った教育による人災だ。早くしないと、「国破れて山河在り」

に・・・事務局 増木

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市会議員)」。2番艦「英霊を被告にして委員会」、3番艦「憲法一条の会」。4番艦「救う会大阪」。5番艦「台湾籍日本人支援の会」これらに頂だいたご意見等をM情報の責任で発信。

◀M情報活動報告▶編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

議会質問・議員・自治体等からの報告

松戸市 令和元年  
12月 定例会  
12/10 中村典子

◆5番(中村典子議員)

◇次に、質問事項2、子どもの学習支援事業について。現在、大阪府大阪市では塾代助成制度を導入しております。私はおとしまで大阪市に住んでおりましたが、この塾代助成制度は毎月1万円の支給があり、シングルマザーの私にとっては経済的に大変助かりました。

そこで、市の学習支援の取り組みについてお伺いします。子どもたちの教育には学校教育と学校外教育とのバランスが重要であると、私は子育てを経験し認識しております。学習における貧困の連鎖を断ち切るというためにも、学校外教育において経済的に苦しいお宅に対する学習支援をすることは必要だと思いますが、市は塾代助成制度などの支援の考えはいかがでしょうか。

◎福祉長寿部長

続きまして、質問事項2、子どもの学習支援事業について御答弁申し上げます。議員御案内のとおり、大阪市内

は、塾代助成制度とともに、生活困窮者向けの子どもの学習支援事業を市内24区のうちの9区において実施していると考えております。

本市におきましても、生活に困窮する世帯を対象とした子どもの学習支援事業を実施しております。事業内容は、学習支援、居場所の提供、心理カウンセリングの三つを柱としております。実施会場につきましても、事業開始より着実に会場数を増やし、松戸、新松戸、常盤平、六実、小金原、さらに今年度開設の東部を加えて計6会場で実施しており、市内ほぼ全域に網羅しております。

次に、実績でございますが、学習支援について申し上げますと、10月末現在で小学生は定員105名で利用者は80名、利用率76.2%でございます。中学生は定員226名で利用者204名、利用率90.3%。高校生は定員37名で利用者34名、利用率91.9%となっております。全体といたしましては利用率は89.4%となっております。また、平成30年度利用者に対して行ったアンケートでは、参加させてよかったとの回答を保護者全体の93%からいただいております。

今後、利用者増加の工夫や適切な定員数及び実施回数の検討など内容のさらなる充実を図りながら、貧困の連鎖防止の一助となるべく、引き続き支援してまいりたいと考えております。

5番(中村典子議員) 御答弁ありがとうございます。学習支援事業について、松戸市でも積極的に学習支援に取り組んでいることがわかりました。予算の関係でもあると思いますが、塾代助成制度についての考えの御答弁もいただきました。ありがとうございました。引き続き貧困連鎖に歯止めをかける一助となる支援事業の拡大が見込まれると思うので、さらなる事業の発展を期待します。

川西市 令和元年  
12月05日 中曾千鶴子

◆4番(中曾千鶴子)

この苦しむ市民や子供たちに寄り添う思いを持つ中で、昨年に引き続き今回も私の質問事項は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間、拉致問題、そして子供達、教育の問題についてとさせていただきます。

1. 北朝鮮人権侵害問題啓発週間・北朝鮮人権侵害、拉致問題について。

昨年度もお話しさせていただきました。ただけども、12月4日から10日まで北朝鮮人権侵害問題啓発週間とさせていただきます。川西市は毎年、この北朝鮮人権侵害問題啓発週間に対し、しっかりと取り組んでくださっています。

1970年ごろから80年ごろにかけての北朝鮮による日本人拉致ですが、政府の17名の拉致被害者認定に加え、警察庁のホームページにも出ている拉致被害の可能性を排除できない被害者特定失踪者は、日本人の被害者が800人以上存在していると言われています。特定失踪者の家族有志にて、2017年5月12日に特定失踪者家族会が立ち上げられまして、その特定失踪者家族会の幹部に、川西市出身の秋田美輪さんご家族、お姉様の吉見美保さんが就任され、国連に行かれたり、本当にご努力をなさっているところでございます。

拉致問題の啓発については、国及び地方公共団体の責務が定められています。拉致被害者ご本人はもとよりご家族、お父様、お母様、ご兄弟姉妹の気持ちを考えて、罪のない一般の方々が生を破壊されてしまった悲しみ、これは本当に許されることではなく、国、都道府県、市町村、全国で啓発を続けていかなければならないと思っております。

それでは質問です。(1)北朝鮮による人権侵害問題・拉致問題についてあらためて市の認識をお示しください。

次、1989年12月4日当時、川西市湯山台に住んでいた川西明峰高校卒業生で神戸松陰大学生の秋田美輪さんは、「友人の家に泊まる」と家族に電話したのを最後に行方不明となり、兵庫県警の工場の28名の北朝鮮による拉致の可能性を排除できない

行方不明者として掲載されています。  
 (2)この秋田美輪さんについて、あらためて市の認識をお示しください。次に、昨年度お聞きいたしましたですが、(3)川西市における今年度の北朝鮮人権侵害問題啓発週間の活動の内容と今後の活動についてお示しください。そして、(4)川西市立小中学校における北朝鮮拉致問題に関する教育の実施の有無と実施の内容、教員への研修状況をお示しください。【以下略】

◎市民環境部長(石田有司) (登壇)  
 それでは、1.北朝鮮人権侵害問題啓発週間・北朝鮮人権侵害、拉致問題についてご答弁申し上げます。

まず、(1)の北朝鮮による人権侵害問題・拉致問題につきましては、国民に対する人権侵害であり、我が国の主権及び国民の生命と安全にかかわる重大な問題と認識をしております。

次に(2)の本市出身の特定失踪者、秋田美輪さんについてでございますが、議員ご指摘のとおり、兵庫県警のホームページには拉致の可能性を排除できない事案に係る方々として掲載をされており、本市といたしましても、1日も早い事案の解決を願っています。

(3)の北朝鮮人権侵害問題啓発週間の活動内容と今後の活動におけるパネル展示につきましては、毎年、啓発週間には市役所ロビーの人権啓発コーナーにおいて、ポスターの掲示やチラシの設置を実施しておりますが、今年度は兵庫県からも啓発パネルを借用し、

掲示することといたしております。

次に、市役所1階の市民の待合場所に設置しているテレビにおける特定のアニメ上映は困難ではございますが、人権啓発施設である総合センターにおいて上映できるように検討してまいりたいと考えております。ポスターにつきましては、神戸地方法務局伊丹支局から送られましたポスターを掲示しておりますが、各施設の掲示板のスペース等から全てとはなりません。可能な限り掲示に努めてまいりたいと考えております。また、ブルーリボンバッジの着用や手づくりブルーリボンにつきましては、今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。さらに、拉致問題啓発映画の上映や講演会などのイベントにつきましても、全戸配布の「広報じんけん」において、人権侵害問題啓発週間の周知や啓発アニメ「めぐみ」の貸し出しなどについて周知を行っているところであります。今後、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律の趣旨に基づき、国・県など関係機関と連携し、啓発活動に努めてまいりたいと考えております。

○議長(秋田修一) 4番 中曾議員。  
 ◆4番(中曾千鶴子) ご答弁ありがとうございます。

それでは、確認を含めて再質問をさせていただきます。本日は、市長がブルーリボンをつけてくださっております。やはり意識の高い、本

当に人権擁護都市として、さまざまな人権課題ありますけれども、拉致問題は重

要な人権侵害問題でございますので、市長が率先してブルーリボンを示していただくことで、本日に全市民への啓発にもなります。この市長がブルーリボンをつけるというのを、全国の都道府県、全国の市町村の長の方をつけていただくことを、越田市長から発信というか、モテルケースになっていただきたい。私は思っております。その上でなんですけれども、石田部長を初め部長の皆様は、つけていただく予定はないですか。

○議長(秋田修一) 市民環境部長。  
 ◎市民環境部長(石田有司) すいませ

ん、非常に目立たないところで申しわけ

ございませんが、市章の横につけてさせていただきます。その他の特別職につきましても、可能な限り周知を図らせていただきます。

○議長(秋田修一) 4番 中曾議員。  
 ◆4番(中曾千鶴子) ありがとうございます。

昨年、初めてこの質問をさせていただきました。非常に、非常に強く感謝しております。より進んだ取り組み、意識改革をしてくださっているなというところで、本当に苦しんでいる1人の被害者、1人ではございません、たくさん

被害者に対する本日に重要な人権問題は何かということをしつかりと市が取り組んでくださることを、本当に心から喜んでおります。

田美輪さんについての市の認識もい

ただきました。本市では、この秋田美輪さんの事案の解決を願うとご答え

くださいましたけれども、具体的にやはりどのように進めていけばいいとお

思われますか。

○議長(秋田修一) 市民環境部長。  
 ◎市民環境部長(石田有司) まず、この特定失踪者と言われる方々の存在

は、特に本市出身の秋田美輪さんについての事案の紹介をやはり市民の方々にもしていくということ

で、パネル展示のときに、兵庫県警のほう公表しております特定失踪者、特に秋田美輪さんに関する詳細な情報、昭和の〇年〇月に行方不明になったというふうな、こういった詳細な情報につきましても1階の市役所ロビーのパネルのほうに、少し小さくはなりますけれども、昨年も張らせて

をお借りするということをお伺いした  
んですけれども、昨年はポスターを張  
ってあるだけだったんですけれども、  
パネルを具体的にどのようなようにお示さ  
れるか予定でしょうか。

○議長(秋田修一) 市民環境部長。

◎市民環境部長(石田有司) 実は、  
兵庫県のほうから合計6枚のパネル、  
大きさをいけますと、縦が10センチ、  
横幅が10センチのもの、これを5枚。  
これは実は兵庫県の人権啓発協会のほ  
うが作成をした、拉致については私た  
ちは諦めないというふうなところ、そ  
れと拉致問題ってどんなことかとい  
うようなところ、それと兵庫県の関係者  
の掲示、また関係者以外にも政府のほ  
うが認定をしている拉致被害者の状況  
それと特に横田めぐみさんに関するご  
家族の方々の思い、ここをあらわした、  
必ず取り戻すというふうな、これは政  
府の拉致問題対策本部のほうで制作を  
されたパネル、合計こういった6枚を  
市役所ロビーのほうで掲示をさせてい  
ただく予定にしています。

○議長(秋田修一) 4番 中曽議員。

◆4番(中曾千鶴子) ありがとうございます  
ございます。昨年度まではポスター1枚  
で、隅っこで目立たない。掲示をして  
いただくだけでもありがたいことだと  
思うんですけれども、今回本当に大き  
く進めてくださったことに、驚きと感  
動をしております。

平成30年度における日本人拉致

問題に関する理解促進活動の実施状況  
というのが、全国の市町村の分が上げら  
れておりまして、兵庫県の分を私持っ  
てるんですけれども、毎年チェックをして  
いるんですが、阪神間では川西市がしっ  
かりと取り組みをしていることが突出  
しておりまして、近隣市町村、伊丹市や  
西宮市、宝塚市は全く取り組みがなされ  
てないんです。神戸市や姫路市のような  
大きな政令都市や中核都市はしっかり  
取り組みをしているところが多いんで  
すが、兵庫県では川西市が一番周知をし  
てくださった30年度に加え、今回また  
さらに取り組んでくださるというこ  
ろで、これは本当に阪神間だけじゃなく  
全国にこのことを示していきたいな  
んと思っています。ごさいいます。本  
当に取り組みを進めてくださったことに感  
謝申し上げます。川西市の多様で真摯な  
取り組みは本当に進んでいると評価さ  
せていただいておりますので、率先して  
これから拉致問題の啓発を続けて行  
かれることで、また市町村にも影響を与  
えますし、少しでも多くの市町村がこの  
ような取り組みを進めることが解決に  
つながる。今はほかに方法がございませ  
んから、署名活動するであるとか、啓発  
を続けるしか救う方法がないのでござ  
います。なので、川西市の取り組みは、  
被害者の方々、ご家族の方々にも大きな  
希望の一つになると私は思っています。  
次にですが、「広報じんけん」につ  
いて。配布をされるようなんですが、これ  
は、総合センターだよりですかね。拉致  
問題啓発週間について書かれているも

のが配布されるようなんですが、これはこ  
の週間の前に配布されるんでしょうか。

○議長(秋田修一) 市民環境部長。

◎市民環境部長(石田有司) 総合セン  
ターだよりも2月号、この週間に合わ  
せて配布をさせていただく予定ですし、  
広報じんけんは、これは全戸配布に  
なっております。こちらの中にも北朝  
鮮の人権侵害問題啓発週間の周知であ  
りますとか、この啓発ビデオ「めぐみ」  
のDVDを貸し出しますと。こういった  
ことについても広報じんけんは、ほう  
周知をしております。ごさいいます。

○議長(秋田修一) 4番 中曽議員。

◆4番(中曾千鶴子) 市としての大き  
な取り組み、私、10日からのこの週  
間にパネルをぜひ拝見したいと思いま  
す。昨年度、その横にブルーリボン、布  
つくったものを市民の方にということ  
で配っていただいていたんですけれど  
も、今年もそれはされる予定でし  
ょうか。

○議長(秋田修一) 市民環境部長。

◎市民環境部長(石田有司) はい。今  
年も予定をしております。

○議長(秋田修一) 4番 中曽議員。

◆4番(中曾千鶴子) 今、社会科の教  
科書にも載っているというところ、し  
っかりと人権課題、たくさんある中  
の1つではございますが、大きな大きな、本  
当に大きな問題ですので、子供たちに知  
っていただくということは大切なこ  
とだと思っております。最近、アニメ

「めぐみ」は長く学校現場に配られて、  
全校に配布されてもう長けたつんで  
すけれども、もう一つドキュメンタリ  
ー映画であります、家族の様子である  
とか、実写のドキュメンタリーの映画  
の「めぐみ」引き裂かれた家族の30  
年」という映画の上映会を開催したい  
という希望のある中学、高校を政府が  
募集しております、わずか13歳の  
ときに北朝鮮に拉致されてしまった  
横田めぐみさんの話を中心に、その拉  
致問題の経緯や被害者ご家族の救出  
活動などを描いたもので、アニメ「め  
ぐみ」とともに鑑賞していただくこと  
によって、ちょっと小学生よりも中  
生や高校生を対象に拉致問題に対  
して深く認識を持っていただけの内容  
になっていきますので、今後少し検討  
していただいて、学年集会であるとか  
人権教育の中でこれを使用するとい  
うことも検討いただいただけませんか。

○議長(秋田修一) 教育推進部長。

◎教育推進部長(若生雅史) 議員か  
らも先ほどご案内があったとおり、小  
学校では6年生の社会の教科書、それ  
から中学校では3年生の歴史の教科  
書に出てまいります。それぞれ現在の  
問題でございますので、年間の学習指  
導計画の中では、この2学期の終わ  
りもしくは3学期の初めぐらいを予定  
しておるところがございます。そのあ  
たりでの、またこれから活用する中  
において、先ほど申し上げたとおり道  
徳でありますとか、それから社会の授  
業との関連の中で、議員にご案内いた

きましたその映画についても活用ができるようなことなら、学校のほうにはまた紹介をしていきたいと思えます。

○議長(秋田修一) 4番 中曾議員。

◆4番(中曾千鶴子) 現在、学校にはさまざまな国籍であったり家庭環境の子供さんもいらっしゃるの、いろいろな配慮しながらの人権教育、この拉致問題の教育も進めていただきたいと思えます。ビデオの活用や、また教員に対する研修もして下さっているところ、また来年度に向けて進んでいくことを期待しております。

ただいま拉致問題は、もうネットとかスマホがなかったら1970年、80年ごろの、本当にもう50年ほど、長くたっている問題ではありませんが、最近現代社会の中で小学生女児が行方不明になるであるとか、拉致問題とはまた違う事案ですけども、ネットやSNSで女子中高生などが言葉巧みに誘い出されて、長期間自宅から連れ出されて監禁されるというような事件が本当に相次いでいて、社会問題になっていると思えます。拉致問題は北朝鮮当局による国家的犯罪行為であるので、また違いますけれども、やはり安易にSNSなどを利用して、家出がしたい、親から離れたいというところで、だまされて連れていかれるということで、その残されたご家族、お母様やお父様の気持ち、心情、苦しみというのを、子供たちに理解していただきたいことと、またこの拉致問題のアニメ「めぐみ」などの教育を通して、そういった

家族の大切さであるとか家族のつながり、自分が親と暮らす権利が奪われたり、監禁されたり、自分の人権についての意識の向上にもつながると思えます。現代の子供たちの命を守るという観点からも拉致問題を知ることが大切なことだと思っておりますので、苦しみ被害者になり添って、自分たちでできることは何かというのを子供たちが考える機会にもなりますし、自分の身を守るということにもなると思えますので、ぜひ今後ともご検討いただきたいと思います。



◆吉見みさこ委員 今お配りしているのは、5ブロック、(港区、東淀川区、東成区、鶴見区、平野区、西成区、友成、旭東中、白鷺中)の9月の学校給食献立表でございます。主食は、1週間のうち御飯が3回、パンが2回です。

中学校における給食時間の確保について質問させていただきます。

成長期である児童・生徒にとって、栄養バランスがとれた食事をとることが非常に大切であります。しかし、さまざまな調査の結果を見ると、朝食を食べない子供が多くいる中、学校給食が子供の

成長にとって、大変重要な役割を果たしていることは言うまでもありません。

中学校は従来、弁当あるいはテリバリ方式での昼食でありましたが、この2学期から全ての中学校において、学校調理方式による給食の提供が実現されました。しかしながら、昼休憩時における給食の喫食時間が小学校時と比較すると短いと聞いています。お弁当のときと同じ時間で給食時間が設定されているとしたら、準備に時間がかかるのに食べる時間が短いと中学生が感じるのには当然であります。最近あるテレビ番組の中で、ある都市の中学校の給食時間が短過ぎると話題になり、その番組の中でけんけんがぐぐくと議論をいたしました。そこで、大阪市の現状を聞く前に、学校調理方式にて給食を既に実施してきた他都市の状況についてお伺いいたします。

◎盛岡教育委員会事務局指導部中学校教育担当課長 お答えいたします。

以前より自校調理方式による中学校給食の提供を実施しております大阪府和泉市など、近隣の都市に問い合わせをしましたところ、4限目の終了チャイムより給食時間終了のチャイムまでの時間が30分と設定されている学校が大半でありました。一方、大阪府門真市などのように、給食時間を35分や40分に設定している学校もありました。

また、政令市を初め全国の幾つかの都市にも問い合わせましたところ、同じように4限目の終了チャイムより給食時間終了のチャイムまでの時間は30分と設定している学校が大半でした。

◆吉見みさこ委員 他都市の状況は、給食時間が長い学校や短い学校があるものの、各中学校の実情を踏まえ給食時間を設定していることがわかりました。しかし、私のもとには本市の中学校給食の時間が短いのではないかと聞いた声が届いています。

そこで、本市も多額の税金や年月を投じて学校調理方式に移行したのであれば、給食時間を延長してでも、全員がゆっくりと喫食できる時間を確保すべきと考えますが、本市の中学校の現状についてお伺いいたします。

◎盛岡教育委員会事務局指導部中学校教育担当課長 お答えいたします。

本市におきまして、中学校給食は家庭から弁当を持参しない生徒がおにぎりやパンなど簡易な食事で済ませたり、全国に比して朝食を食べない生徒の比率が高かったりしたため、栄養バランスのとれた給食を提供し、生徒の心身の健やかな成長を図るという目的で、まずは短期で実施可能なテリバリ方式を導入いたしました。その後、6年間かけて親子方式や自校調理方式を組み合わせた学校調理方式へ移行し、今学期をもって全ての中学校で実現することになりました。

現在、多くの中学校では、給食時間といたしまして、先ほどお答えしました、他市や全国と同時間の30分程度を充てている状況でございます。その時間で準備から片づけまでを通して、計画的、継続的に指導を行うことによ

り、生徒に望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけさせるように取り組んでおります。しかしながら、4時間目の終了時刻がおくれたり、給食の準備に時間がかかったりすることによって、食事時間が短くなってしまうこともございます。このような場合は給食時間を短縮せずに、校時調整を行うなどをして給食時間の確保を図るよう工夫しているところでございます。

◆吉見みさこ委員 給食の時間というのは、子供たちにとっても、とっても楽しい時間で、私の経験からも、友達とおしゃべりしながら楽しく過ごした時間という思い出があります。また、育ち盛りの中学生にとって食べることの大切さを学ぶことはとても大事であり、その意味でも給食の時間は重要であります。しかし、私に届く声の中には、現在の本市中学校において、給食時間の確保が不十分であり、楽しい時間どころか、時間に追いついてくれ最後まで食べられない生徒がいると聞いています。ましてや4限目に体育など教室を移動する授業の場合、食べる時間が5分ほどしかない日もあると聞いています。そんな時間で全員が食べられるわけもなく、先生方の中でも同じように感じている方がいらっしやるんですけれども、なかなか改善にまで至らない現状があるようにも聞きます。

昼の休憩時間に余裕がないのではないのでしょうか。中学校も清掃時間を風にするなど、給食時間の確保に向けて工夫が必要だと考えます。この点について、教育委員会の見解をお伺いいたします。

◎盛岡教育委員会事務局指導部中学校教育担当課長 お答えいたします。

中学校給食は、成長期にある生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることができると認識をしております。しかしながら、委員御指摘のように、給食時間内に最後まで食べられない生徒がいることも、学校現場より聞いています。

各学校におけます授業時間の設定を含めまして、給食時間、休憩時間、清掃活動などのさまざまな活動時間は教育課程の編成権のあります各校長が設定しております。学校調理方式への移行に際し、給食時間の確保に努めているところでございます。

具体的な例といたしましては、給食時間を5分程度延長したり、給食前の4時間目に教職員が給食の物資を各フロアへ事前運搬し、配膳がスムーズに行えるようにしたりしております。さらに、給食前の授業に教室移動のない教科や、保健体育以外の更衣する必要がない教科を入れるなど、時間割りを編成する上で工夫をしております。いずれにいたしましても、学校調理方式に移行して間もない学校も多く、給食時間の設定のあり方を模索している現状にあります。

教育委員会といたしましては、各中

学校におけます給食時間の設定の現状を把握し、適切な設定となるよう学校現場と連携し、取り組みを進めます。また、日々の献立に基づいた給食指導の実施や楽しい雰囲気での給食時間になるよう、一層努めてまいります。

◆吉見みさこ委員 中学校給食の現状と教育委員会の今後の取り組む姿勢はわかりました。しかしながら、学校給食は学校給食法に基づき実施され、成長期にある生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、とても重要な役割を果たすものであります。食へ物には旬の野菜、旬の果物がございまして、さまざまな行事もございまして、先ほどお配りいたしました献立表を見ていただきましたらおわかりいただけますように、9月13日には旬の果物であり、行事献立でみたらたくさんが出されております。9月13日には旬の果物であるブドウが出されております。

給食時間が5分しかない日もある今の中学校では、早く食べなさい、しゃべらず残さず食べなさい、時間がなかったら残しても構わないから早く片づけなさいと、先生方から言われるそうです。それぞれの御家庭で幾ら食への感謝の気持ち、残さず、ゆっくりによくかんで食べまじょうと教育していても、先生に言われると、残しても大丈夫、残してもいいんだと思ってしまうおそれがあります。子供たちからも、もっと時間があればおかわりしたかった、全部食べたかったという声が多く聞かれます。先生方も、

子供たちに残しても構わない、早くというのは本意ではない、授業時間を削減するわけにはいかないの仕方がないというお話でございます。

先ほどの答弁にもございましたが、4限目の授業がない先生方が給食の物資を各フロアへ事前に運搬してくださっています。4限目の授業がないといっても、職員室で暇な時間を過ごしているわけはありません。次の授業の準備をしたり採点したり。とっても大切な時間でございます。現状のままでは先生方にも負担がかかります。携帯電話の普及により子供たちの間でSNSが流行しております。インスタ映えや動画をアップするためだけに食べ物を注文し、残ったものを捨てる子供たちが多い現状があります。しっかりと小中学校の給食で教育していれば、こういうことは起こり得ないと思っております。献立表の裏面には、いただきます、ごちそうさまの意味がきちんと記載されております。今の中学校給食は、ただ食事を速やかにとることだけのように思います。この学校給食を通じて、健康の増進、体位の向上を図ることに加え、準備や片づけの実践活動を通じて、生徒に望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけさせ、学校給食に郷土食や行事食を提供したりすることで、本市の文化や伝統に対する理解と関心を深めるような有意義な時間となるよう、また子供たちにとって豊かな心を育む給食時間になるよう、さらなる工夫と改善を強く要望します。

# 各位。各団体等からの報告。ご意見

**「三島由紀夫と東大  
大全共闘」50年目の  
の真実を鑑賞して  
英霊の名譽を守り顕彰する会  
3-20 佐藤和夫**

今日封切された「三島由紀夫と東大  
全共闘」50年目の真実

映画館はほぼ満席。多くの団塊の世  
代の他、若い方も来ていたが圧倒的に  
男が多い。言葉が熱をもっていた時代  
50年を経て語る人々の言葉は「く  
普通の言葉。しかし600番教室での討  
論は知性と知性のぶつかり合い。観客  
は言葉を楽しむと聞き耳を立てるが、  
帰る時の顔は皆マーク。

左右とも現実に敗れどことなく物悲  
しさが残る。守るべき物のある人と破  
壊したい人とのぶつかり合い。反米愛  
国の共通項はあってもお互い譲れない  
ものがあつた。

彼らが探そうとしていたものの答は  
今も出ていない。

【東大全共闘との討論の映画で印象に  
残った6人の学生】

一人は司会を務めた木村修。彼は三  
島由紀夫を討論に誘った人間。大学の  
先生方より三島由紀夫の方がよほどま

しと思ひ、三島由紀夫を先生と言つてしま  
う。その時の三島由紀夫の笑顔はこれ  
まで見た笑顔の中で最高の笑顔に思え  
た。だからその写真はよく出てくる。

彼は討論会のお礼に電話したところ三  
島由紀夫から楯の会に入らないかと誘  
われる。木村はあやふやな返事をしたこ  
ころ「そこに誰がいるだろう。その人を  
電話に出してくれ」と言つ。その人は木  
村の彼女。後に奥さんとなる。その奥さ  
んが三島由紀夫に「貴方は木村を愛して

いるのか」と問われ、結婚50年経つて  
「愛しています」と答えた事を明かした  
そつだ。奥さんにとってはその一言が木  
村を押しとどめ、三島をして楯の会に入  
会する事を諦めさせたことを知ってい  
たからだ。

三島由紀夫の優しさが見て取れる。二  
人目は当代きつての論客と言われた芥  
昌彦。子連れで討論の場に参加し討論の  
場に不思議な穏やかな雰囲気を感じ。彼  
は人間の自由を叫び、三島は日本人とし  
てのアイデンティティーに生きる立場を  
貫く。

天皇と言つ言葉は何度か言葉にする  
中で言葉となつて学生達の心に残つた。  
「天皇万歳と言つてくれれば私は君達  
と共闘する」と言つた三島の言葉を学生  
達は笑つて聞き逃すしかなかった。学生  
達にとつて天皇と言つ存在は全く頭にな  
かつたからだ。

芥は50年経つた今でも三島を壮

大な芝居を打つた人間としか見ていな  
い。そして共産主義を崩壊をインタビュ  
ーが指摘するところそれは貴方がそちら  
側の人間だから。私はこちら側に人間  
だ」と。

**マスコミによる人  
民裁判  
京都北山の宮司 中村重行  
02-3-17**

「すんだことは水に流す」こんな美  
しい習慣が我が国にある(あつた)のは  
世界に誇れる習慣だと思ひます。世の中  
を住み難くしているのは今やテレビな  
のです。ニュースを主に見ていますが  
お笑いタレントや専門家だといふ肩書  
だけは立派なコメントータもどきや解  
説者モドキとかが無責任な放言の言ひ  
放題、「お前ら前回言つていた事と違つ  
やんけ！」放送局が言いたい内容は「ア  
ンチ行政(政府)」なのです。

武漢肺炎のニュースの続きでテレビ  
をつけたままにして置いたらなんとか  
言つ俳優の不倫問題をやっていました。  
醜いですね。たかが芸能人の不倫ですや  
ん。何でテレビに出て全国民に謝らなく  
てはならないのですか？ 夫婦にとつ  
ては大変なことですがこれこそフライ  
バシーの問題で公表するようなことで  
はないと思つのですが。昔から我が国は  
男女間にはおおらかな国民であつたは  
ずです。政治家も政敵の下半身の問

題は問わないのが約束でした。

私の嫌いな日本国憲法第24条「婚  
姻は、両性の合意のみに基づいて成立  
し、夫婦が同等の権利を有することを  
基本として、相互の協力により、維持  
されなければならない。」と書いてあ  
ります。だから今流行りの？同姓婚な  
どは以ての外なのです。また脱線しま  
した。始めは両性の合意で結ばれた夫  
婦でも相手を思いやる心が無ければ  
離れてしまつのは致し方ないこと  
です。特に最近では自分が幸福になるこ  
とのみを望む人が多くなり人を思いや  
る心を日本人は失つてきました。不倫  
や熟年離婚が増えるのも心のつなが  
りを失つた現代社会の表れだと思つ  
のです。

この様な風潮はマスコミだけでは  
なく国会でも一部野党の追及など見  
ていると恐ろしく感じます。自分のこ  
とは棚に上げて恐ろしい形相で相手  
を追求する国会中継を見るとまさしく  
人民裁判です。この人民裁判形式を  
真似ているのが学校でのイジメ問題  
につながっているのです。子供は大人  
の真似をして育つてゆきます。次の世  
代のためにもこの世の中の不合理を  
無くしてゆきましょう。

前の参議院議長の前田先生、旦那  
が女性の部屋から出てきたところを  
フォーカスされ、記者は議長に「どう  
思われますか。」千景議長は、「それ  
が何か、うちの主人が何かあなた方に  
迷惑をおかけしましたか。」と、ピシ  
ヤリ。さすが。女の鏡！ マスキ

# 川内時男校長の教育宣言

元徳島県立中学校校長 川内時男

## 6. 一学級当たりの子供の数を増やせ

前回、子供には敵を執拗に攻撃する本能があることを書きました。鳥や猿など、相手を一撃で倒す武器を持たない生き物は、闘いに勝っても闘争本能を抑制するがDNAに組み込まれていないので、これらの生き物を狭い檻で飼育すると、強者は逃げ場のない弱者を執拗にいじめ抜き、ついには殺してしまいます。自然界の森であれば、弱者は空に飛んで逃げたり、他の木に飛び移って逃げたりできますが狭い檻ではどうすることもできません。ところが

子供は霊長類ヒト科でありながら、教室という「檻」に閉じ込められています。ですから動物行動学的には、いじめ殺される子供がいても何ら不思議ではないのです。そんな悲劇を防止するためにはどうすれば良いでしょうか。「檻」を広くすることです。と言っても、教室の物理的綿製を広げると言うことではありません。一学級当たりの子供の数を今より多くすることです。「何たる暴言！」と思われたでしょうか。社会が少人数学級の実現に総力をあげているときですから、そう思われるのも無理からぬことです。しかし動物行動学的見地に立てば、私の言っていることが正しいのです。事実この説を主張する動物行動学者も少なからずいます。一学級当たりの子供の数が増えれば、教室では幅広い交友関係

が生まれ、あるグループからいじめを受けても、他のグループに逃げることで済みます。こういつと「では僻地の学校はどうなんだ、少人数の教室で問題なくやっているではないか」と反論する人がいるでしょう。一理ある反論です。しかし僻地などでは、地域住民の付き合いが深かったり、親とつしが親戚であったりなどで、結びつきが強いものです。こういう環境では子供は自ずと行動を抑制し、いじめが起るのはいけません。とあれ、いじめ防止には教室を広くすることが大事なのです。

## 7. 大人数で授業できない欧米の学校

前回「一学級当たりの子供の数を増やせ」と書きました。これに対しては「欧米の学校は少人数学級ではないか」と反論する人も多いと思います。しかし、このような反論をする人達は多分「日本の教育より欧米の教育の方が優れている」という思い込み、即ちある種の「欧米信仰」があるからでしょう。実は日本の教育は欧米より遙かに優れているのです。第一40人という大人数の教室でも立派に授業ができています。

か。海外の学校では到底無理でしょう。私は教師時代、9年間を海外で過ごしました。この間に視察や交流などでアメリカンスクールなどの欧米教育に接する機会がありました。そこでは確かに子供達は自由です。そして伸び伸びしています。しかし学校は子供を伸び伸びさせる

ことが目的ではありません。確かな学力、道徳心、逞しい精神と体、即ち知・徳・体を養育させることが目的です。子供が伸び伸びしている、目がキラキラしている、などはさほど価値あることではないのです。とれだけ子供が「心豊か」で逞しく育ったか」が全てだ。

私が勤務していたメキシコのグアダラハラ補習授業校は、メキシコ人家庭の子(昼間はアメリカンスクールに通う子)と、企業の駐在員が日本から連れてきた子(ついこの前まで日本の学校にいた子)が入り交じった学校でした。よく観察して見ますと日本の子はさすがによく躰けられており、何事もよく頑張り、根気があります。学校行事等で整列したときにも日本の子は整然と静かにしているのですが、メキシコ人家庭の子は落着きがなく、よそ見をしたり友達の間をつついてみたりと、とにかくじっとしていられないのです。授業中も同じです。教師が話しているときにも自分が話したいときには話しをする、と言った具合です。これでは学力はつきません。日本人はとかく欧米の教育に憧れるようですが、現実にはこんなものです。ということで、日本の教育を改革するには、まず欧米教育に対する幻想を捨て去ることが大事なのだ。

## 8. 実はよく頑張っている日本の学校

言うまでもないことですが、教育は子供、保護者、教師が互いに信頼し合っていることのできるものです。しかし評論家やマスコミの無責任な学校批判によって、国民の学校不信は高まるばかりです。確かに今の学校には解決しなければならぬ問題がありますが、学校を批判する

るばかりでは何も解決しません。そればかりか、正義漢ぶった「学校バッシング」は教師を萎縮させ、学校をますます閉鎖社会にしてしまつたのです。では日本の学校はそれほどひどいのか、グローバルな目で見て日本の学校はそれほど無能なのか。とんでもない！日本の学校は世界から見れば超一級品であり、最も優れていると言っています。

世界各国の教育にかける国の予算のGDPに対する比率は、日本は先進国の中で最低です。それでも学力は世界のトップレベル、単位人口当たりの青少年の犯罪数は欧米よりも桁違いに少ないのです。学者先生達は口を揃えて欧米の学校を褒めそやしますが、現実はどうなのですか。もちろんこれは日本人の教育熱心さにもよりますが、多くは保護者の期待に応えようとして頑張っている教師達の努力のためものと言えます。これらの結果を見れば、先生達はもっと胸を張って良いのではありませんか。なにも萎縮することはありませんよ。そして保護者はじめ国民の皆さん、学校の苦悩を理解してやってください。そして学校を応援し支えてやって下さい。

そしてついでに・・・無責任なことを言う学者先生やマスコミの皆さん、学校が何も反撃してこないことをいいことに、正義漢ぶって学校を批判するのはやめてはいかがですか。最後に文科省様、欧米教育を真似るのはもうやめましょう。日本の教育は衰退しつつあるとは言え、まだまだ欧米教育に比べられるほどには衰退してはいないのですから・・・。



# 訃報 伊藤玲子元鎌倉市議

## 元鎌倉市議会議員伊藤玲子先生のお通夜に参列して

### NPO法人百人の会 事務局長 増木重夫

3月27日、神奈川県の上から伊藤先生の訃報が届いた。享年63歳。大往生。30日の告別式には先約があり、どうしても上京できないので、20日のお通夜に参列させていただいた。コロナの影響で、外出自粛が出ている真ん中、でも私は何があっても行かなければならない恩義がある。コロナの力は絶対で、参列されるであろう方々を皆自宅に押し込み、寂しいものだった。羽田から横浜へそして横須賀線で鎌倉へ。このブルーの電車に先生が何百回、何千回乗られたことか。先生が活動のため、鎌倉―東京間の定期を持っていた話は有名だ。まるでサラリーマンが東京へ通勤するがごとく国会通い。陳情のために。

お通夜式は神式。簡素な中にも厳かなの音に導かれて。遺影は多分25年ほど前の物。丁度私が出会った頃のものだろう。先生独特のニコツともいえない写真。走馬灯のように先生との活動が。出会いはよく覚えていないが25年ほど前、百人の会ができるや否やご入会いただいた。そして、横浜の職員相手の裁判。他、山ほどの活動。時間調

整で拙宅(大阪空港の近所)で休憩してもらったとき、部屋に入るや否や寝られてしまった。余程疲れていたのだろう。先生の鎌倉のお宅に遊びに行ったり、先生が鎌倉駅まで愛車で迎えに来てくれた。スカイラインGT(ハコスカ)のミッション車。「先生、今時ミッションですか。」「これでもないよ。坂がきついよ。」「先生の自宅は鎌倉の山中。走り出し山中に入ってその意味がわかった。細い急な山道。急なものでじゃない。そこを200フルアクセルで登る。怖いなんてものじゃない。」「第3京浜でSOM. オーバーで捕まったらよ。」「おてんば婆さんの思い出は尽きない。選挙も手伝った。選挙と言えば、事務所に派手な看板を立てて、ところが先生の事務所は民家を借り、看板もない。あくまで市民運動の延長。先生の最初の選挙は還暦を過ぎたころ。いつもは何も言わない主人が退職金をポンとくれて、「やってみろ」と言っつよ。私のこと少しは気にかけてくれていたんだ。という話。これも有名ですよ。

丁度そのころは今と違って、日本会議もできたかまだできていないかのころ。つくる会などはもちろんできていなかった。百人の会は当時は斬新な会だ。地方議員と市民が協力し、教育再生をやっているころ。早い話が日教組をぶっ飛ばせ。当時の大阪の自民党系の地方議員が中心になってきたのだが、『維新』がで

きる10年前の話。そして2か月に1回各地の現状報告や勉強会。伊藤先生は皆勤、300回ほど毎回鎌倉から大阪まで来られた。あとの方では、伊藤先生が百人の会を仕切っていたな。ところが当時の大阪は、それが維新ができる原因にもなったのだが、日教組(解放同盟傘下)の天下。やりたい放題。当時の大阪の議員は、日教組への遠慮もあったのだろう、露骨な批判はできない。それが伊藤先生には不満だった。そして15年ほど前、ついに爆発した。こんな呑気な連中とは一緒にやってられるか! それから後、大阪では『維新』ができた。『維新』ができてからの大阪の変わりようは皆さんご存じの通り。伊藤先生に対しては、「もうちょっとゆっくり、先生、飛ばし過ぎ!」と言いたかったが・・・。そして伊藤先生は地元、関東で「女性塾」を旗揚げし活動を展開。議会では、自治労と全面戦争。一切の妥協を許さない。正義に足が生えたような人だった。そして中山成彬先生を巻き込み、「日教組をぶっ飛ばせ!」5年くらい前に引退されるまで、定期券をフルに使って。先生のちよっと前かがみで小走りの歩き方は、先生の人生そのものだった。思いでは尽きない。

さき。 合掌

## ずしりと重たい靴を持ち

### 神奈川 山内裕子

在りし日の、ずしりと重たい靴を持ち小走りの伊藤さんが目に浮びます。御冥福を心よりお祈りいたします。伊藤さんの4期目市議選をお手伝いした御縁で

伊藤さんの志、行動力に感服いたしました。いつも祖国日本を思い、不正を叱り、あるべき日本を実現すべく走り続けておられました。今何をすべきか、伊藤さん御健在ならば、直ぐ行動を起されることでしょう。

15年間50回余、私は鎌倉で講演会を催し、延べ一万人の参加者に啓発の機会を設けましたが、今は酒井信彦先生「日本人のための世界史」、旧制中学教科書「国語」勉強会を続けております。還暦過ぎたから、のんびりとなんて言ったら伊藤さんに叱られますね。還暦過ぎ鎌倉市議として立ち上がり、伊藤さんは全身全霊で祖国のために御活動なさいました。

遺された私達、伊藤さんの志を受け継ぎ、できることを精一杯してまいります。



右より、高山福岡市議、穴倉千葉市議、伊藤玲子先生、三橋茂原市議、古賀先生、増木(H19 米国大使館前)

# 今日の新聞報道・ニュース等

**「福島50」を観てきた**  
 永井由紀子  
 国会商院記者会所属 やまと新聞社  
 2020年03月18日(水曜日)

◆トップの決断  
 菅直人は多分、いい人なんだろう。しかし、何よりも大切なトップの資格が欠落していたと思う。  
 吉田所長は免振棟を離れずに最後まで指揮した。

菅直人は焦り、不安に陥り現地へ飛んだ。それがなければおそらく作業はもう少し早かったのではと思う。更に、福島へ飛びとぎに枝野らしき人が「権限の全権移譲を！」という「よし」と言い残して飛んでしまう。

トップが迷いもせず権力委譲をしようと思かしたに、誰も何も言わない。仮に枝野が「私が代わりに行きます。総理はトップとして指揮をしてください」と言っていたら・・・？ 局面は変わったのだろうか？ 菅直人は明らかに「活動家」としては先頭に立ち旗を振る役には適していただろう。それが菅直人の限界だったと思う。活動家が政治家のトップになった時の愚かしき結末だ。

◆東電と政府と現場の三すくみ!?

東電は民間企業でありながら国の企業でもあった。東電のトップは政府の顔色を窺い、責任回避と指示を求めた。企業としての責任を政府に共有させたのだ。東電のトップは現場に目を向けず、ひたすら「上からの命令だ！」で終始した。企業責任やプライドをすべてあめりか捨て去ったといえる。

◆緊急時の対応・現場の力

この映画が良くてきたサスペンスではなく実話であることに震えた。吉田所長と現場の人間と東電本社の間には恐ろしい乖離があった。しみじみと思ったのは、緊急事態の時に現場に決定権を持たせるトップの決断が必要であるということ。その決断を裏付ける法的根拠が必要であること。

福島だけではない。これが尖閣や北海道、沖縄といったところで他国が侵略しかけていたら、会議会議で「ウイーンの踊る会議」の二の舞三の舞である。

とそんなことを考え、感じながら、結論としては「いざというとき、トップが判断できる条件が必須であること」(法的改正)「トップとしての意識をしっかりと持ち、決断できる首相を選ぶこと」

福島原発の現場で頑張られた方々には、本当に感謝したい。こうして映画が見れるのもその方々があってこそだと思う。福島で被災された方々には心からお見舞い申し上げたい。

**コロナ問題でも「安倍政権批判」展開 朝日新聞にこそあてはまる? 「国家意識・民族意識」の喪失**  
 元東大教授 酒井信彦  
 2020.4.7 夕刊フジ

朝日新聞は、新型コロナウイルス問題に関して多くの社説を出しているが、その中心は安倍晋三政権に対する批判であるといえる。中でも代表的なものが3月2日の「安倍政権の日本 不信の広がり」を恐れる」と題する長文の社説で、安倍首相による学校の一斉休校の要望に際して書かれたものである。

まず冒頭で、「いま、この国の政治の現場では、驚くべきことが立て続けに起きている」と打ち出す。次いで、東京高検検事長の定年延長問題と、「桜を見る会」を持ち出し、「いずれの問題でも、政権は適正な手続きをへて行われた」とを裏打ちする確かな文書を示せず

に「この7年あまりの安倍政権のもと、日本の統治の秩序は無残なまでに破壊されたと言わざるを得ない」と述べる。そして、「通算在任で憲政史上最長となった安倍政権は、統治の秩序をやり放題に壊してきた。その傷口から流れ続ける『うみ』が、いまの政治には満ちている」「政権中枢が法治国家では当然の手續きを無視するから、その意を忖度(そんたく)する公務員らが後始末に翻弄さ

れる。まさに「組織は頭から腐る」を地でやっているのではないかと、野党議員の表現を借用する。以上、安倍政治への批判を展開したうえで、「そのうち突然、発せられたのが全国一斉の休校要請だ」「目に見えない未知のウイルスへの不安に加え、自らの生活にかかわる具体的な不安が、一気に全国へと広がった」「安倍政権が破壊してきたのは、統治の秩序だけではない。国民の政治への信頼もまた、大きく損なわれた」と決めつけるのである。

とここで、3月24日オピニオン欄に、小説家の真山仁氏の長文コラムがあり、見出しに「脆弱な危機管理 さらけ出した安倍政権」とある。朝日新聞の社説と同様の安倍批判かと思っただが、中身はそうでもない。文中で「私が問題にしたいのは、安倍政権の失政をあげつらうことではない」と述べられている。長文の中で、真山氏の発言の核心は、次の部分であろう。

「私は以前から日本では、国家の意味が正しく理解できていないのではないかと懸念していた。そして、今、それは現実になってしまった」

この発言は、大賛成である。私もずっと以前から、日本人は、当然持つていなければならない「国家意識・民族意識」を完全に喪失しており、それが日本没落の根本原因だと考えてきた。つまり、真山氏の批判は、安倍首相に対するよりも、憲法9条を妄信する朝日新聞こそ、驚くほどあてはまるのである。

全く同感！国難にあたり政府の施策に協力すること。提言は専門家に任せる。無用の不安と不満を高める言説、これを「朝日ウィルス」と言っ。マスク

### 広島県 奥中 正之

「武漢ウィルス感染症の拡大、それとそれに伴う経済の落ち込み」によって起こりうる国民の不安と不満を扇動して、社会混乱と秩序の破壊を図り、共産主義革命実現を推進する勢力があるとの情報があります。疫病対策と経済対策に関する政府の施策を批判し、庶民の無用の不安と不満を高める言説には十分な注意が必要です。

私達に必要なことは、国難にあたり政府の施策に協力すること、そして静かな自粛でありましょう。武漢コロナ禍に関しては分からない事が多々あります。政府批判ではなく前向きな建設的提言は専門家に任せざるを得ないと考えています。

## 野口健氏の尊敬すべき正論

R2-3-15 スポーツ報知

情報提供

悪徳不動産屋の独り言 坂口久夫

登山家の野口健さん(46)が15日、自身のツイッターを更新。新型コロナ

コロナウィルス感染症について自身の見解をつづった。

野口さんは「中国共産党機関紙『欧米諸国の新型コロナウィルス感染症への対応が甘く、感染拡大を許した。反省すべきだ』」というネットニュースを引用し、「『土下座しろ』とは言わない。しかし、せめて一言、世界に対しお詫びの言葉があつて然るべき。その上で武漢の経験からくるアドバイスを世界に向け発するのが道理。また、この様な横柄な態度を取る事により、海外で生活されている多くの中国人が『差別の対象』にされてしまう事に想像すら出来ないのか」とツイートした。

### 坂口久夫

短い記事だが、野口健氏の言葉が武漢肺炎問題の責任について中国を除く全ての人の声を代弁していると思う。各国の首脳や財界のトップが中国の顔色を窺い直接的な批判を避ける中、「よく言った」と尊敬の念しかない。中国は他国に責任転嫁して、武漢肺炎を、アメリカ力発、日本発の新型肺炎とまで言い出す始末。大量のマスクや防護服の支援を受けていてもその所業。もう支援などしなくていい。

そういえば、日本がWHOに48億円(一説では150億円)を寄付したら、テドロスが「日本は封じ込めに成功している」とヨイショし始めたとか。解かりやすいと言えば解りやすいが、カネで買える海外の大学の名誉博士号。WHOは人類の健康よりカネ・国連機関も腐

つてる。

日本もバブルで沸き返っていた頃はそつだったんだろうけど、中国の傲慢さは目に余る。安い人件費と大人口による大量消費を当てにして、経済最優先で「乗り遅れまい」と中国に工場や支社を出して中国に依存しきっていた先進国の大企業経営者が諸悪の根源でアホ。進出するなら、人口の割に国土は狭いけどインド、タイ、ベトナムが適していたのではないかと、政治の影響も少ないし、技術や資産を丸ごと奪われる心配も無いのだから。中国が経済力をつけなければいずれこうなる、と経済の素人である私でさえ昔から危惧していた。

それにしても、野口健氏、きわめてマトモな見識をお持ちで「立派」の一言。まあ、そつであつても、外交では「私が悪うございました」とは言わないのがセオリーだけ。

### 兵庫 西村 隆

全く、そのとおり！「サース」「鳥インフル」「豚コレラ」等、どれ程の疫病を世界中にはらまいてきた事か？何故、共産主義体制を改めようとするのか？建国120年あのソ連と並ぶを迎えたいにも関わらず、民主的選挙、投票をいまだ1度もした事がない。本当に「異形」ど「可哀想」な専制、独裁国家です。1日も早い国家崩壊を心から望みます。それが、国民と世界人類の為です。

### 愛知 水谷 雅一

ハイトだと言われるだろうが、中華民族が謝ることはないと思う。彼らが思っ

蛮族に謝罪する必要があるなぞ思ったこともないだろう。その証拠に、ネット上では(ネットは当局の管理下にあることで有名)日本型肺炎と名付けたり、ウィルスは米軍が武漢に撒いたなんて報道官が言ったり、悪いのはお前だなんて態度は絶対とららないだろう。

中国に謝罪を要求するよりも、何をやるかとしているか、疑惑の目で見ていかないといけないと思う。再び、ウィルスを作り出さないように全土の衛生状況とか人民の衛生意識を改善しようとか、医療状況を強化しよう、という方向に進みそうもないわけだから。日本から結構な数のマスクが中国に寄贈されたが、それがきちんと中国国内で消費されたかどうか勘定する必要もあるのではないか。

日本のODAのように、中国の懐に入ってから中国からの援助として海外に出ているとはいえない。(一部報道では海外の援助物資が倉庫に山積みになって手のついていない写真があった。もしそうなら、倉庫から出して開梱して人民に配るよりもそのまま荷札を取り換えて海外に送った方が手間は省けると考えても不思議はない)これは、中国を罪に問う訳ではなく、彼らが何をやるかは興味を持って見るべきでしょう。もし、中国人にそういう習性があるなら、今回、勇んで中国にマスクを献納した政治家の内の一部の人々は考え直してくれると思う。

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## ZOZO 法人百人の会

●第41(通算108)回定期勉強会  
◇令和元年4月下旬(予定)

◇京都北山中村氏宅庭園 春の園遊会  
中村重行(寺田静雄(若き教育者  
に伝えたいこと))

※「コロナのため、見通し立たず。

●第40回定期勉強会報告

◇日時 R2-2-29 13:30~  
◇サティフェイム新大阪 4F

【定期勉強会】は2ヶ月毎に開かれ、教育問題の勉強、研究、意見交換等を行う。また、時間後半に、会の運営等に関する重要案件を議論する定期理事会を合わせて行う。

※過去、弊会は〇〇回「理事会」と称して、勉強会、意見交換会を行ってきました。今般、やっているこの内容をよりのわかりやすくするため、「理事会」を「定期勉強会」と名称変更いたします。

## 台湾人日本国籍確認訴訟

・第1回口頭弁論 東京地裁  
R2-3-16 ウィルスで延期。期日待  
・裁判終了後、報告集会(弁護士会館)  
※ 本件裁判が延びています。原告の許  
氏が強く意見陳述を希望し、そのた  
め「コロナが収まらないう」

## 計報

姫路「創造文化研究所」

主宰 中島剛氏

3月30日 肺炎で亡くなられました。  
「コロナではなく、純粋な肺炎のようです。  
思いを書き出したらきりがありません。  
弊百人の会にとって、私個人にとっ  
て、最高の仲間でした。取り急ぎ一報だ  
け。」  
増木

大阪市 玄山 英子  
中島先生がお亡くなりになられたの  
ですか？ 大変ショックを受けてお  
ります。 明日、知人に連絡させて頂  
きますが...

中島先生が机を叩きながら話される  
姿が忘れられません...心から冥福を  
お祈りいたしますと共に先生の想いを  
微力ではありますが、引き継がせて頂き  
これからもがんばってまいります。

## 編集後記

我が家の愛犬はメル(ダックス、2歳)、  
そして我が家の居候の愛犬はララ(ダッ  
クス、8歳)。2匹ともとにかくいたず  
ら好き。今日も茶碗をひっくり返し  
て.....  
そこで思わず怒鳴ってしまった「

~~~~~、マシ~~~~~! (マシ・ハブニ  
ース代表石井希尚氏の愛称)
この次、マシさんにあったら言ってし
まいそう「ララさん元気ですか」と。

※4月5日の代演
5月20日 19:00開演
日本橋三井ホール

問い合わせ 03-3326-8587
【7月1発】

4月10日 先ほど、体温計の調子が
悪く薬局に相談に行った。電池が切れか
かっているとわかり、電池交換。スイ

活動資金の協力をお願い

郵便振替 00980-8-245547 MASUKI情報デスク
口座番号 099-0245547 MASUKI情報デスク
三菱UFJ銀行 五国中央支店 00443499 普通 増木重夫

まずは、平素より私どもの活動に力
強いご支援を賜り心から御礼申し上げ
ます。マスク情報デスクは後記団体に
「縁のあった人の名簿を管理し、『M情
報活動報告』を毎月全国約5千(目標
1万)部(議員4割)発送しています。
私どもは子供達に誇りある国を残す
ため必死で戦っています。ところが問
題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。
※このM情報は特に「購読料」は設定
していません。カンパをよろしくお願
いいたします。

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等ご
んどん表記事務所までお送りくださ
い。また、弊紙は郵メールで発送し、
重さ制限は50gです。まだ余裕がこ
びますので、資料等の同封が可能です。
ご相談ください。

○カンパ金の主な用途は、下記サポ
ート団体の、活動の資料等の発送
費・道路、公園使用料・交通費、通
信費・資料、チラシ等の制作・備品購
入費等
○M情報が管理・サポートしている
主な団体
・ZOZO 法人百人の会 ・救う会大阪
・憲法一条の会・英霊を被告にして
委員会・台湾人日本国籍確認裁判等
◇ 前記口座、または同封の郵便振替
にてご協力ください。

「M情報」では、日々、全国各地の仲
間から情報が送られてきます。それを
メールで転送配信します。内容はごこ
よりも詳しく多種多様。試しに一度受
信してみませんか。要領は巻頭のアド
レスに「メール希望」と空メールを
(発信名義「ZOZO 法人百人の会」)。